

ぼくらが  
ビンテージ・アコギを  
愛する理由

高温多湿・極度乾燥・カビの発生に対応しつつ  
LEDライトが愛器を美しく照らす「全自動恒湿保管庫」



さまざまな実りや色彩豊かな自然をもたらしてくれる“四季”は、日本ならではの美点のひとつ。その一方で、極端な温度や湿度の変化は、木材で製作されたアコースティック・ギターには大きなダメージを与える要因と成り得る。表1は気象庁のデータをもとに、主要なアコースティック・ギター生産国の年間の平均温度や降水量変化をまとめたもの(月平均の最大値と最小値の差)だが、やはり日本の降水量の幅、すなわち乾湿の変化幅は無視できない数値と言えるだろう。

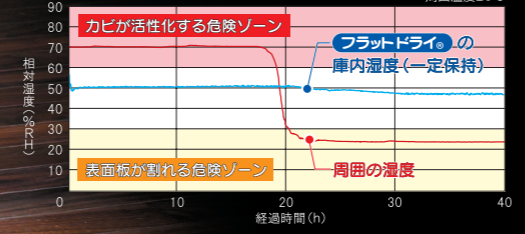
この乾湿の変化は、ネックの反りや表板の膨張や割れなど、木部に大きな影響を及ぼすだけでなく、金属パーツの錆びやカビの発生など機能的にも見た目的にも見過ごせない害を引き起こす。空調の調整や密閉率の高いハードケース、除湿剤の利用などである程度は回避できるものの、それらも万全とは言えず、やはり専用に設計された保管庫の導入は、愛器が大事であればあるほど現実的な選択肢となるだろう。

防湿保管庫製造のバイオニアとして長い歴史を誇る東洋リビングが開発した“全自動恒湿保管庫 FLAT DRY”ならば、フルオートで庫内の湿度を適切に管理(表2)。今回紹介するモデル“FD-140A2(B)”は、LEDパライイトにより、庫内のライトアップも可能で、“愛器を適切に保管”しつつ“鑑賞にも耐えうる”満足度の高いギター管理が可能となる。その実力を、実際導入した店舗のコメントなども含めて紹介していきたい。

表1 主要アコースティック・ギター生産地の平均温度と降水量の差

地域	温度差(°C)	降水量差(mm)
アメリカ西海岸(LA)	7.2	77.1
アメリカ東海岸(NY)	24.8	37.8
カナダ(トロント)	25.7	32.4
スペイン(マドリッド)	19.3	56.8
ドイツ(ミュンヘン)	20	69.3
中国(北京)	30	168.5
インドネシア(ジャカルタ)	1.5	426.5
オーストラリア(シドニー)	10.4	65.7
日本(東京)	22.6	287.5

表2 FLAT DRYの連続運転試験データ 周囲温度25°C



●外気を強制的に高温・低温環境にして測定したデータです。  
●加湿ユニット動作時は一時的に±10%RHの精度から外れる場合があります。

# 一生モノのアコギにぴったりのギター保管庫

# FLAT DRY

東洋リビング

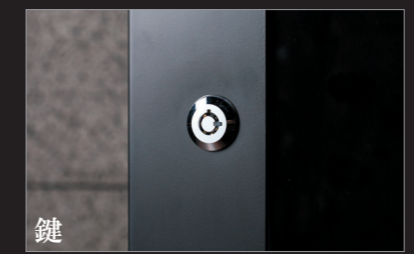
Specifications  
FD-140A2(B) 価格:オープンブライズ[市場実勢価格:税込¥190,000前後]  
●サイズ:485(W)×1281(H)×361(D)mm ●重量:26kg ●内容量135ℓ ●庫内湿度:50%RH  
●精度誤差:±10%RH ●電源:AC100V ●消費電力:18W ●備考:LEDパライイト付き



除湿&加湿ユニット  
独自開発の除湿&加湿ユニットにより庫内湿度を50%RHに保つことができる。作動時には赤いランプが点灯する。電気代は年間100円程。



ギターハンガー  
庫内にはハーキュレス製のギターハンガーが設置。フックが愛器をしっかりと固定する。特注でラッカー塗装用に変更も可能。



鍵  
扉は専用の鍵による施錠が可能で、収納品の飛び出し防止や防犯にも役立つ。

「安心」を生み出す各機能をチェック！  
Details of FD-140A2(B)



除湿&加湿ユニット(背面)  
2台のユニットが自動で湿度を調整してくれる。加湿のための水供給や除水などの手間要らずなのはうれしい限りだ。



転倒防止板  
筐体は26kgとかなり重量はあるが、筐体下部前面にはガッシリとした足が伸び、本体の転倒を防いでくれる。



LEDライト・センサー  
筐体右上にある非接触式のセンサーに手をかざせばライトアップ。消し忘れ防止のために8分で自動的に消灯する。



湿度計  
筐体右上の見やすい場所に湿度計を設置。常に保管庫の湿度を確認できる。別売りのデジタル温湿度計に変更も可能。



カスタムオーダー品  
ギターを2本同時収納できるタイプなど、要望に合わせたカスタムモデルのオーダーも可能。製品はすべて国内生産だ。



## Guitar Shop's Voice ~FLAT DRY 導入店の声~

ドルフィンギタース大阪店 店長 片岡亮二さん

一生モノのギターだったら  
保管にもこだわってみてください。

FLAT DRYは、ギターケースと比べると少し高価ですけど、安心を買うなら決して高くはないと思います。ケースというよりは、ギターの家、ギターの部屋を愛器にプレゼントするといったイメージをしていただくと、身近に感じていただけるかもしれません。正直、今の日本は環境的に湿度のギターへの影響がかなり大きいので、それを緩和できる良い商品だと思いますね。

実際、購入されているお客様も多く、一張羅というか、大事な1本のためにギターとセットで買われていく人もいらっしゃいます。それと、やっぱり気に入ったギターは常に見ていたいという気持ちがあって、ギターケースとは違い

中が見られるのもFLAT DRYの良いところですね。そういった意味でショーケース的に購入される方もいらっしゃいます。

当店では、湿度を50~60%前後、温度は23~25度前後で保つようにとお客様には勧めています。空調なども含めて管理していくのがベストですけど、ご自宅では限界もありますからね。

FLAT DRYは、加湿も除湿も、自動的に行ってくれるので、水を補充したり捨てたりという手間がないのも良いですね。ランニングコストもほとんどかからないですし、一生モノのギターだったら保管にもこだわってみてはいかがでしょうか。何かあってからでは遅いですね。とにかく気にせず安心して置いておけるというのが一番ですね。



▲ドルフィンギタース大阪店が導入しているFLAT DRY。